

2021年9月27日

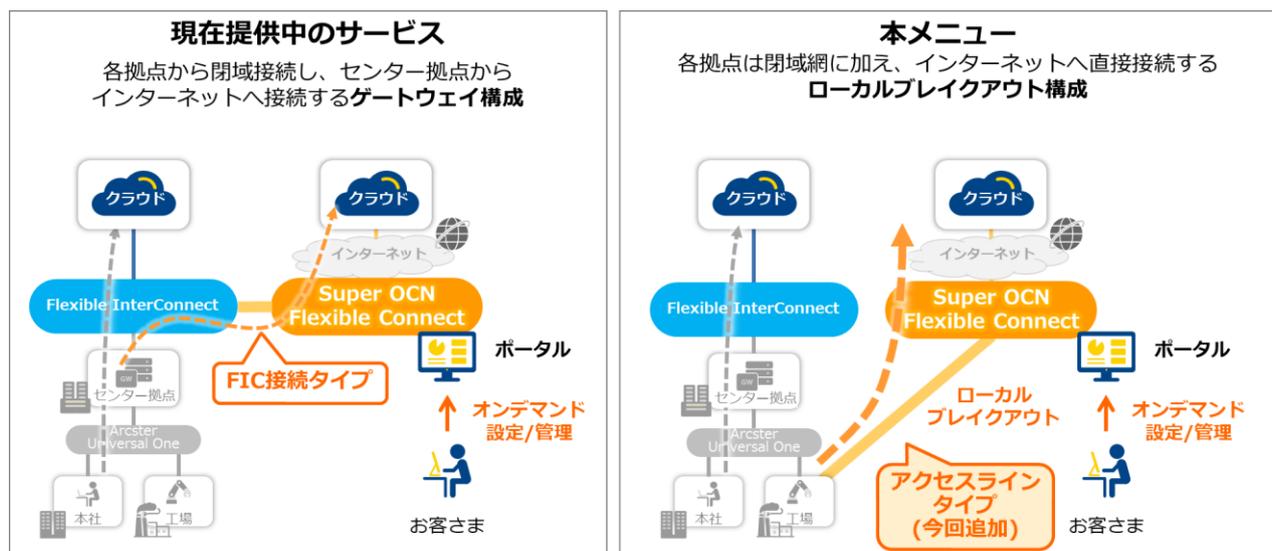
## 次世代インターネット接続サービス「Super OCN Flexible Connect」に 拠点からのローカルブレイクアウトが可能な新たな接続メニューを追加

～ニューノーマル時代の急激なトラフィック変動にもオンデマンドで対応～

NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、「Smart Data Platform」<sup>※1</sup>の次世代インターネット接続サービス「Super OCN Flexible Connect」(以下 本サービス)において、拠点からのローカルブレイクアウトに対応した新たな接続メニュー「Super OCN Flexible Connect アクセスライン<sup>※2</sup>タイプ」(以下 本メニュー)を、2021年9月27日より提供開始します。

本サービスは、これまで拠点から閉域網<sup>※3</sup>を経由しインターネットへ抜けるゲートウェイ構成にて、オンデマンドで即時に帯域増減が可能なサービスとしてご利用いただいております。

このたび、拠点からインターネットへのローカルブレイクアウト構成に対応した本メニューのご提供により、ネットワーク品質を重視する重要拠点からの、閉域網を経由した社内システムへのアクセスと、オンライン会議やクラウドサービス利用などのインターネット通信の併用構成が可能となります。



### 1. 背景

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、リモートワークをはじめニューノーマルな働き方が普及する中、オンライン会議やクラウドサービスなどインターネットを利用した業務機会が増えています。また、オフィスへの出勤と在宅でのリモートワークを、時勢によって柔軟に選択したいというニーズも高まっています。

そのような中、本社や支社、工場など、従業員数が多い拠点においては、従業員の出勤人数によってネットワークトラフィックの増減が大きく、品質・コストの最適化を実現するため柔軟な帯域変更が求められています。しかし、従来のネットワークサービスでは帯域変更に数週間の時間を要するという課題があり



<https://sdpf.ntt.com/services/ocnx/pricing/>

## 5. 今後の展開

サービス開始時点のエリアは関東、関西エリアのみですが、今年度中の全国展開をめざします。また、リモートワークや外出先からもセキュアに利用できる「Flexible Remote Access<sup>※4</sup>」や「SASE ソリューション<sup>※5</sup>」などを合わせてご提供することで、お客さまのニューノーマルな働き方に貢献していきます。

NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X<sup>TM</sup>」にもとづき、生活者・ビジネス・社会を、安心・安全かつ柔軟に「新たな価値でつなぎなおす」ICT サービス・ソリューションを提供し、ニューノーマルの世界におけるサステナブルな未来の実現に貢献していきます。

# Re-connect X<sup>TM</sup>

<https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html>

※1: データ利活用に必要な収集・蓄積・管理分析におけるすべての機能を、ICT インフラも含めてワンストップで提供し、データ利活用による DX 実現を加速させるプラットフォームです。詳しくは下記 Web サイトをご覧ください。



<https://www.ntt.com/business/sdpf/>

- ※2: 利用できるアクセスラインは、NTT Com が提供する「NTT Com 光アクセス」、「NTT 東日本・西日本ワイド」、「ハウジング」です。
- ※3: NTT Com が提供する VPN サービス「Arcstar Universal One」および「Flexible InterConnect」をさします。
- ※4: オンプレミスやパブリッククラウドに点在する社内業務システムやクラウドサービスなど、各種の ICT サービスに、在宅環境などどこからでもセキュアに接続できるリモートアクセスサービスです。
- ※5: テレワーク時代にフィットするゼロトラストの考え方を取り入れた、ネットワーク・セキュリティ・マネジメント一体型のソリューションです。